

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 1290900412 | | |
| 法人名 | アークエム株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホームゆう希苑かなすぎ | | |
| 所在地 | 千葉県船橋市金杉町882-3 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年1月15日 | 評価結果市町村受理日 | 平成25年2月18日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会 | | |
| 所在地 | 東京都港区台場1-5-6-1307 | | |
| 訪問調査日 | 平成25年1月26日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当苑の理念に基づいて、ご入居者様が安心かつ安全に生活できる環境のなかで、日々笑顔のある穏やかな生活を送る事ができるよう支援していきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 昨年2月船橋市郊外の閑静な新興住宅地に開設したホームです。潇洒な建物で日当たり良く、ベランダからの眺めもよく、建物内も膝に優しい床等利用者に優しい工夫がなされています。
2. 健康面・医療面に力を入れ、内科医が月2回、歯科医が隔週訪問診療するとともに、看護師の訪問が毎週という体制になっており、職員はバイタルチェック、各種体操、口腔ケア、隔日入浴支援等を行っています。
3. サービス面では、理念の「安心と尊厳ある生活。利用者に応じた自立した生活支援」を常に実践しています。家族アンケートの結果も好評で、実際家庭的な雰囲気の中、リビングで皆さん元気に楽しそうに団欒していたのが印象的でした。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|---|----|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) <input type="radio"/> | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) <input type="radio"/> |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) <input type="radio"/> | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) <input type="radio"/> |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) <input type="radio"/> | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) <input type="radio"/> |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) <input type="radio"/> | 66 | 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) <input type="radio"/> |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) <input type="radio"/> | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/> |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) <input type="radio"/> | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/> |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) <input type="radio"/> | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 家庭的な環境の中で安心と尊厳のある生活、個人の能力に応じた自立した生活を送ることができるよう支援する。地域コミュニティの中でその人らしい生活ができるよう支援する。毎日ミーティングで唱和し、共有し実践しています。 | グループホームに求められている、地域に密着したサービス提供の方針を織り込んだ3項目の理念を掲げ、毎日のミーティングや職員会議の時に皆で唱和することにより共有を図り、日頃のサービスの中で実践に努めています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町会には参加しています。町会の行事に参加できるよう情報を共有しています。 | 近くの公園に散歩に出かけ地域の人と交流しています。また、町会に加入し、夏祭り、防災訓練、ゴミゼロ運動等町会・地域の行事に積極的に参加する一方、音楽や踊りのボランティアを受入れています。現在近くの小学校との交流を検討中です。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の方に、苑に訪問していただき、ご入居者様との交流をもち、理解していただくよう努めている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は現在2回開催しています。2か月に1回開催できるようにします。ご家族様や、ご入居者様、地域の方のご意見を参考に今後の支援に結び付けたいと思っております。 | 地域包括支援センター、町会長、家族、利用者、職員で年2回開催し、利用者・職員の状況、行事報告、認知症ケアについて話し合っていますが、まだ活発な意見交換を行うには至っていません。 | 年6回の開催を目標とし、議題に、外部評価について、介護関係の基礎知識説明、介護業界のトピックス等を追加して意見交換を活発にし、サービスの向上に活かす事が望まれます。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議に参加頂き、情報交換や意見交換をしています。また、何かあった場合、積極的に、ご意見を確認するよう努めています。 | 市担当には必要の都度報告しています。地域包括支援センターには、運営推進会議に必ず出席してもらいアドバイスを受けています。グループホーム連絡会には多忙のため出席できないので、系列の施設の管理者から行政等の情報を聞き、運営に役立っています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 現在、安全上玄関の施錠はしていますが、身体拘束のないケアの方針を掲げ、マニュアルを作成し、職員間で意見交換し、実践に努めている。社内外の研修参加もできるよう配慮している。 | 身体拘束廃止の方針を謳い、職員は社内外の研修を随時受け、勉強しています。ただ、ホームは、車の交通が多い国道に面しているため、玄関は日中施錠しています。 | 利用者の安全確保の為とはいえ、玄関の施錠は身体拘束にあたるので、利用者に束縛感を与えないよう配慮すると共に、家族の理解を得ておく必要があります。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 職員の社内外の研修参加に配慮し、虐待防止の方針を掲げ、マニュアルを作成し、職員間で、意見交換し、態度や言葉づかい等においても、注意を払い、防止に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護の研修までは至っていません。成年後見人制度の対象の方もおられるので、今後、研修にも参加できるよう配慮し、理解と活用できるよう努めていきます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時、ご利用者様やご家族様に十分な説明をし、質問や疑問にはご理解いただけるようお話をしています。また、契約前には、必ず施設を見学して頂いております。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関に投書箱を設置しています。現在年1回家族会を開き、またご家族様の面会等でご来苑時現在の状況等、お話ししています。 | 利用者は日頃から、家族は来訪時・年1回の家族会・運営推進会議等で、意見・要望を聞き運営に反映するように努めています。実施した例としては、好物を毎日食べること、自販機の缶ジュースを飲むこと、毎日の散歩、CDの選曲等があります。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 2か月に1回の職員会議や、毎日の申し送りで、意見・提案等を話し合い、職員全員が共有できるよう努めています。 | 管理者は、毎日の申し送りや職員会議で、職員の要望・意見を聞き、運営に反映させています。実施した例としては、ポータブルトイレの使用、利用者別介助の実践的研修、職員休日の変更等があります。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 必要に応じて、面接や話し合いの機会を随時設けています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内部研修や外部研修に参加を促し、職員会議等で研修報告を行い、職員全員が共有し、スキルアップできるよう指導をおこなっています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他同業者との交流までには至っていません。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご本人の生活歴や性格等を把握し、その方に合う話し方や接し方に心掛け、会話や表情からご本人ができるような声掛けや対応に努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 面会等で来られた時には、こちらから必ず、声をかけさせて頂き、ご利用者の説明や状態の変化を気軽に聞けるよう心掛けています。来苑はいつでも来て頂けるよう話しております。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人様からの情報やご家族様からの情報を基に、どのようなケアをすればよいか、何が必要かを話し合いながら対応するよう努めております。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご入居者様の立場に立ち、出来る方には、掃除や食器洗いや片づけ、洗濯干しや片づけ庭の草取り等、職員と一緒にいきます。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様との外出や外泊に行かれる方もおります。必要に応じてご家族様への連絡をとっております。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族様や知人、友人とのご面会や、外出等、気軽に、面会等いつでもできます。また、談話の中に思い出話や懐かしい写真を拝見するなど生活歴を取り入れるようつとめております。 | 利用者の中には、近隣から訪ねてくる知人(美容師、仕立屋さん等)の訪問を受け談笑される方もいます。数名の方が家族と一緒に墓参りに行ったり、月1回後見人が来訪する等、利用者と関係者との関係継続が保たれています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションや共同作業(作品作り)において関わりや協力などができるように努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入院された時には、お見舞いに伺い、ご家族様や病院との連絡に対応いたします。退去された時は、電話等で相談があれば対応しております。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご本人様、ご家族様の情報を基に、ご意向に沿ったケアができるよう努めております。困難な場合には、随時カンファレンス等でのよう にケアをしていくかを話し合いをします。 | 利用者の思いを受け止める為に、ゆっくり話しかけたり、難聴者には耳元で話しかけたりして利用者の内面を把握するようにしています。顔の表情や仕草に理解を深めて利用者の動きを把握し、満足して貰えるように支援しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人やご家族様の情報を基に、生活歴や暮らし方を把握し、一人ひとりの思いやその方らしさを大切にしよう努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日常の暮らし方や表情や言動、身体的変化を日々観察し、現状の把握に努めています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人様・ご家族様の意見や主治医や計画作成者の意見を基に、3か月に1回カンファレンスをして計画をたてています。ご入居者様に変化があればその都度見直しています。 | 会話が成立する利用者が多く、意向を聞いた上で各関係者のアドバイスや意見を基に、計画作成担当者が介護計画を立てますが、3ヶ月毎に見直しています。また、更新時や介護度の変更時など随時見直し、最終確認では家族の捺印を貰っています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子や身体的変化等は、ケース記録・業務日誌等に記入し、申し送りでの報告にて、職員間の情報を共有しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 訪問医師や訪問看護師が、ご入居者様の状況に応じて対応し、またかかりつけ医との連携も可能で、指示を仰ぐことができます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町会の行事に参加できるよう支援しています。地域のボランティア(歌や演芸、手品等)の方たちのご支援もあります。地域の飲食店への利用にもご協力頂いております。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月2回の訪問診療において適切な医療が受けられるよう支援しています。さらに、毎月医師より「診療情報提供書」に病状経過・介護方法・日常生活の留意点等を記載し、ご家族様にご報告しています。訪問歯科受診も行っております。 | 提携医師(2名)の月2回の訪問診療、訪問看護師の週1回の来訪、歯科医の隔週訪問と歯科衛生士の指導により、利用者の健康を連携して支援しています。家族には月1回診療等の詳細を送り、病院受診は基本的に家族が担って相互支援しています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 訪問看護師(非常勤)がいるため、身体的変化や適切な対応等、相談・指示を仰ぐことができます。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院関係者と連絡を密にとり、ご入居者様の状態をご家族様と共有して相談しております。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 長期の入院や共同生活が困難になった場合を除き、出来るだけ施設で過ごせるよう努めていきます。終末期の在り方については、ご家族様からのご意向を聞き、看取りも行っております。 | 緊急入院や長期入院を除いて、看取りを受け入れる姿勢で支援しています。開設時に作成された看取り時の同意書がありますが、比較的自立して元気に生活している利用者が多く、実際に使用されることなく現在に至っています。 | 看取りケアが現実になった時を想定して、医療関係者との連携書類の作成、職員の介護力の向上の為に地道な研修、意識がなくなった時の利用者の意向や思いを前もって同意書に認める等事前準備の用意が望まれます。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時に備えて、緊急対応マニュアルに基づき、職員が対応できるよう研修を行っております。今後も引き続き定期的に研修してまいります。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署立会いの消防・避難訓練は、年2回実施しています。地域との協力体制までには至っておりませんが、地域の消防署への協力は依頼しております。非常用備蓄も準備しております。 | 消防署立会いの消火・避難訓練を年2回、実施しています。スプリンクラー、自動通報装置、消火器等が設置され、緊急対応表・連絡先も掲示されています。非常用備蓄は、5日分準備しています。 | 首都圏直下型地震が心配されるうえ、高齢で介護度の高い利用者が多い事を考え、夜間想定防災、消防・避難訓練(連絡、駆けつけ、避難等実際の訓練)の実施及び備蓄の見直しが期待されます。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 居室やトイレに入る際、声掛け等に配慮しております。一人ひとりのプランに沿ったケア行っております。今後も、声掛け等、マナーに関する研修も定期的に行うようにします。 | 職員は、入社時に接遇研修を1回受けています。利用者は「さん」付けで呼ばれて一人ひとり尊重されています。居室を開ける時はノックして返事を確認しています。マナーについて気になった場合は、全体会議で話し合って指導しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常の会話の中から、ご入居者様の思いや希望を把握し、散歩やレクリエーション、体操など強制することなく、その方の意思を確認できる対応を行うよう心掛けています。全員に声掛けを行っております。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活リズムに合わせた対応をおこなっております。その日のペースに合わせて、調整しながら過ごし方を工夫しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご本人の好みの衣類着ておられます。また、衣類による体温調節にも気を配るようにしています。お化粧品や、シェイバーの管理を行い、いつまでも身だしなみやおしゃれに興味を持って頂けるよう支援しています。訪問理容も定期的に行っています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 出来る方には、下ごしらえや準備や片づけを、職員と一緒に、声掛けをしながら行っています。 | 利用者は、自分の出来る事(食事の準備、片づけ等)を手伝っています。献立、食材は本部より届きますが、利用者の希望で同じ食材で献立を変えて作る時もあります。味付け、見た目、切り方を工夫したり、外食、出前等を活用し、楽しい食事になるようにしています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | カロリー計算された献立により、食事を提供しております。身体状況に応じた対応(おかゆ、刻み食、ミキサー食、とろみ食等)も行っています。食事量や水分量に応じた対応に気を配るようにしています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを行います。また、口腔内の炎症や義歯の調整等、定期的に訪問歯科受診の対応もしております。歯科医の指示を仰ぎ口腔ケアをします。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表に個人の排泄状況を記録し、声掛けにより、トイレでの排泄誘導を行い、自立にむけた支援を行っている。夜間も、声掛けをし、トイレでの排泄誘導を心がけています。トイレ介助時、ウォシュレットや清拭等、清潔保持に努めています。 | 原則トイレでの排泄を支援しています。自立者もいますが、出来るだけ不快にならないように時間を見て声をかけています。夜間は眠れる様に、日中に排便を済ませるよう、医師・看護師と連携して浣腸や服薬でコントロールしている人もいます。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 排泄チェック表に毎日個人の排便確認をしています。便秘予防のため、水分摂取や運動を行うようにしていますが、便秘が続く場合は、医師の指示より、内服を行うようにしています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 週3回の入浴で、1日4～5名の方が入浴されます。ご希望により毎日の入浴も可能です。その日の身体状況や個人の状況に応じ対応しています。 | 午前中に入浴しています。週3回が基本ですが、週1回しか希望しない人には足湯等柔軟に対応しています。その日の体調を確認して20～30分かけて介助し、歌を歌ったり、ひげ剃りを行ったり利用者の満足を得られるように支援しています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの状況や体調に応じ、起床や就寝時間を見極めた対応をしています。室温や、寝具の調整にも気を配るよう努めています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個人の薬の用法・効果・注意書きがすぐにわかるようにしています。服薬の際には、名前の確認等安全に心掛けています。完全に内服するまで職員が確認しています。薬は、鍵がかかる戸棚に安全に保管しています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご入居者様の長年の習慣や趣味を活かし、習字や歌、編み物、家事等、職員と一緒にしています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 苑の近所には、住宅街の整備されました歩道があり、ベンチのある公園が多数あり、時折、ご近所の方やお子様とのふれあいがあります。外食会や、買い物等の要望を取り入れながら支援しています。 | 近くの3つの公園で10～30分散歩しています。顔馴染みになった近所の人や子供との語らいが利用者の安らぎとなっています。ドライブで花見や初詣、外食支援を行う事もあります。また、利用者は、各々家族と墓参りに出かけた外食したりしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご入居者様のお小遣いとしてご家族様より、お預かりし、出納帳にて管理しております。外出時や買い物のおきに、お渡しします。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話はいつでも使えるよう配慮しています。手紙やはがきなど郵便物も、はがきや切手を購入したり、投函に職員と一緒にいくようにしています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングは、オープンキッチンで日々調理の様子をご入居者様は興味を示し、食事を楽しみにしております。テラスから眺める庭園や近隣風景も楽しんでおられます。壁には季節の共同作品等を貼り、工夫しています。 | リビングは、日当たりも良く、清潔で、ゆったりしており、利用者が快適に過ごせるように配慮されています。壁には、節分の鬼のちぎり絵、力作の習字、飾り等があり、生活感・季節感を感じます。現在家庭菜園や花壇作りを検討中です。利用者が上手にコーラスしたり、自由に団欒していた光景が印象的でした。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングには、ソファや和室があり、気の合う仲間とそれぞれお好きな場所でテレビ観賞や音楽鑑賞、談話をされて過ごしておられます。個人の居室にて、ゆっくり読書やテレビを楽しまれている方もおられます。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご自宅からお持ちいただきました家具や馴染みの小物や写真、趣味で作られた作品等、ご入居者様が居心地よく過ごせるよう配慮しています。ご仏壇をお持ちに頂くことも可能です。 | 居室には、クローゼット、介護用ベッドが備え付けられ、床は膝に優しい材質のものを使っています。利用者は、馴染みの物を持ち込み、居心地良く過ごしています。複数の利用者が「ここはとても良い所です」と言っていました。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下や出入り口には物を置かないよう安全な環境に心がけています。トイレや洗面所等、自立した生活が送れるようわかりやすい表示や、手が届くところに洗面用具を置くように配慮しています。 | | |